

令和7年度 理科授業改善推進プラン

台東区立桜橋中学校

	育成を目指す資質・能力	児童・生徒の実態を踏まえた課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
1年	・基礎的、基本的な事項の定着。 ・問題演習を反復し、継続して学習する能力。	・記述課題で理科の用語を正しく使いながら説明すること。 ・物質の性質や特徴を正しく覚え、問題演習の中でその知識を使って解くこと。	・記述課題で、必要に応じてキーワードやヒントを提示しながら段階的に指導する。 ・小テストや単元テストを実施し、学習内容の定着を図る。特に、小テストは、範囲を狭く指定し、演習問題と類似問題を出題する。学習すべき問題を絞ることで、学習の方法や基礎的な内容の定着を図る。
2年	・基礎的、基本的な事項の定着。 ・公式をもとに計算する能力。 ・問題から解答を導くポイントを見つけ、整理して考える力。	・凸レンズの焦点距離の導出、震源距離の導出など、計算問題及び記述問題を解くこと。 ・文章や図、表、グラフを読み、結果を整理しながら問題を解くこと。	・小テストや単元テストを実施し、学習内容の定着を図る。 ・問題演習の時に、解くために必要な情報を整理する指導を行う。ポイントとなる箇所に印をつけ、条件や数値などを自分で図、表などにしてまとめさせる。
3年	・問題の文章の前後で述べられている内容を整理する力。 ・実験条件と結果の予想を既習事項に基づき、適切に判断する力。	・文章の整合性がとれるように、分析して解釈すること。 ・文章問題を科学的な視点で読解すること。 ・変える条件に着目した実験の計画及び予想される実験の結果を適切に説明すること。	・小テストや単元テストを実施し、学習内容の定着を図る。 ・文章問題の着眼点(鍵となる数値、実験条件や結果)を考え、整理させて、解く指導を行う。文章の一部が空欄になっていて、そこに当てはまる内容を記述する問題を出題する。空欄前後の整合性がとれるように、分析・解釈することを演習させる。